

## エコハウスで環境教育対談

井下佳織助教授(国際武道大学・医学博士) 大橋千秋センター長  
デブ クマル ラーマ理事長(ネパール教育文化協会)

取材:ネパール新聞記者  
ラーマ・ロク

司会 通訳:ブペンドラ・クマラ・ゴレ



通訳:ブペンドラ・クマラ・ゴレ

(司会 ブペンドラ)本日は、遠方より浜松市地球温暖化防止活動推進センターおよび浜松エコハウスモデル住宅において頂きありがとうございます。井下佳織先生は、私が卒業した国際武道大学の助教授で空手部の監督でもあります。そこで、先生におたずねします。武道は、質実剛健・質素儉約を旨としていますが大学では、どのようにしておられますか。



井下佳織先生

(井下佳織)卒業生であるブペンドラさんにエコハウスの案内をしていただき語学と環境の知識の向上に先ずは、驚きました。大橋先生ありがとうございます。さて、私が指導する大学の空手部の道場は、半分、地下構造になっており冬は、暖かく、夏は、涼しい、地形を活かした、この、エコハウスと同じ考えで建築されています。エコハウスに来て再認識したところです。そこで、大橋千秋先生に地球温暖化防止活動普及のために何が必要なのか?問題点は、なにか?ポイントをお聞かせ下さい。



大橋千秋センター長

(大橋千秋)井下先生それとラーマ理事長、ネパールから遥々、浜松エコハウスにおいて頂きありがとうございます。ポイントは、いろいろありますが人間が引き起こした地球温暖化促進現象ですので大きなポイントは、人にあります。これは、とりもなおさず「教育」がポイントということです。特に、私は、今、小学校2年までの幼児教育が重要と考えて力を入れています。



ラーマ理事長

(ブペンドラ)私の母国ネパールで大橋先生のような指導者がいて幼児のときから礼徳や武士道、環境教育をしたら食べたものを路上に投げ捨てたりしませんよね。他人の庭に投げ込むのですから!先ずは、他人の悪口を言ったり嘘やごまかしをすることを恥ずかしい事と自覚すべきですね。しかし最近、日本人にも平気で誹謗中傷する人がいますが!



ラーマ・ロク記者

(ラーマ理事長)私は、教育文化協会の理事長をしていますが環境のポイントは、「教育」ですね。それには、尊敬される井下先生のような教育者が望まれます。例えば、大橋先生がゴミ拾いをしている写真が2年ほど前に送られて来ました。そのあとネパールでは、旗を立てて「町の清掃奉仕」をしたのですから驚きですね!ブペンドラくんが日本で学んだことをしっかり南アジアの国々に伝承することを期待します。今日のこと、メディアを代表しラーマ・ロク記者が来ていますので帰国したら皆さんへ報道します。南アジアに輪が広がります。

(井下佳織)世界の話になってきましたね。わたしの大学にも世界を代表する柏崎克彦教授(マーストリヒト世界柔道選手権(65kg級)金メダル)のような先生方が多くいます。

(大橋千秋)「世界の柏崎」ですので柏崎先生がゴミ拾いをすれば、ロシアやフランスの皆さんも率先して見習うでしょうね！自称パシリの中島 豸木教授(国土館大)や山口かおり准教授(筑波大)にもゴミ拾いをやるようにお願いし

なくては、ならないですね。最も中島教授は、「パシリの中島、大橋」と言って私まで仲間にして、おかげで学会でも弁当係りやお茶汲みをさせられています。そのように率先してやる人なので期待しましょう。

(井下佳織)恐れ多いはなしですね。以前、わたしが中島教授に電話したとき「世界の柏崎！宇宙の中島！」と冗談でおっしゃっていました。(笑)

(ラーマ理事長)その通りです。2008年4月に大橋先生をネパールにお招きしました。その折の講演でお願いしたことは、「武士道と正直」でした。人を騙したり、自分だけの利益や地位を望む人と「一緒に仕事をしよう！」とは、思いませんよね。私は、「正直」から始まり「人・モノを大切」にする心が育つと思っています。その心があれば、「謙虚」さが生まれ「質素儉約・質実剛健」につながるのではないのでしょうか。これこそ、人と環境の関係において最も大切なポイントは、ないと考えます。

(大橋千秋)そうでしたね！どんなに「環境によい機械・道具」をつくろうと使うのは、「人」ですから「心がけ」ですね。となれば、私たちの地球や環境を守るのは、一人ひとりの心がけ次第と言うことになりますね。

(司会 ブペンドラ)先生ありがとうございます。ポイントは、自分自身が尊敬される人格を身につけ後姿で示すことから始まるということですね。私もしっかり学び帰国したら南アジアのために働きたいと思います。ありがとうございました。